

第1回ダンス教室がありました(9/4)

田村市の「田村っ子の元気を支援する事業」を受け、本校では常葉っ子の体力づくりプログラムを企画推進しております。「陸上教室（走り幅跳び）」「ジャグリング教室」に続く第3弾として、4日（木）に、村上聖美先生（ワールドリズム技能協会理事・こどもフィットネス協会 HipHop 検定専門指導員）を講師としてお招きして「第1回ダンス教室」を実施いたしました。

授業は下学年と上学年に分かれて行われました。子ども達は HipHop のリズムに合わせて、ダウンやキックなどの基本ステップを学びました。今年度のめあては、合計2回のレッスンで1曲のダンスをマスターすることです。次回(9月12日)に向けて、村上先生からは「今日勉強した動きはきちんと覚えて、次回のレッスンに臨んでください」という宿題も出されていたようなので、家でお子様が練習している姿を目にしておられる保護者の方もいらっしゃるのではないのでしょうか…。



村上先生の動きに合わせて、基本のステップを練習している子ども達です。リズムに合わせるのが難しいみたいです。



下半身のステップに上半身がなかなかついていけない様子。

でも、慣れてくれば、この通り大胆な動きに・・・。



下学年のレッスンでは、村上先生の「みんなの前で踊ってみたい子はいるかな？いいよ、前に来てごらん！」の一言に、たくさん子ども達がステージ前に並び、この日覚えたダンスを披露しました！最後に、村上先生から、今日のレッスンの動き（ステップ）のポイントを復習していただきました。次回の教室が楽しみです。

着衣浮き教室がありました(9/4)

4日(木)に4,5,6年生を対象に『着衣浮き教室』を行いました。本校では上学年の子ども達を対象に、着衣のまま水に落ちたときの危険性を知るとともに、万が一着衣で水に落ちた場合の対処法と救助のための方法を学ぶために、水泳学習の締めくくりとして、この学習を位置づけております。



着衣泳で、泳ぎにくさを体感した子ども達。着衣のまま泳ぐことは、体力を消耗し、溺れる危険性が高まることを実感。



みんなで同じ方向に歩くとプールの中に流れができます。これを川に見立てて、背浮きをして流されるという体験をしました。



背浮きしている友達にPボトルを投げ入れる救助法を学びました。Pボトルを抱えてラッコ浮きしている様子です。上手です。

授業のまとめに、①もしも水に落ちたら「浮いて待つ」ことが大切！②友達が落ちたら、すぐに119番！③特別な訓練を受けていないと救助はムリ、近くにいる大人に知らせること！などを学習しました。